

第4部 総合戦略の推進体制・進行管理

ニセコ町における自治創生を着実に推進し、成果につなげられるよう、以下に示す推進体制を構築するとともに、数値目標の実績値等を踏まえ、PDCAサイクルによる総合戦略の推進を図ることとする。

1. 推進体制

(1) ニセコ町自治創生推進本部

地方創生に関する施策を全庁的に推進するため、町長を本部長とする「ニセコ町自治創生推進本部」において、人口ビジョン及び総合戦略と、それに関連する事項の検討・推進を行う。

(2) ニセコ町自治創生協議会

町民（公募）や、産業界、行政機関、大学、金融機関、労働団体、言論界などにおいて自治創生に見識を有する者を構成員とする「ニセコ町自治創生協議会」において、ニセコ町の自治創生に関する基本的な事項に関する総合的な調査・審議を行う。

(3) 町民意見の反映

まちづくり町民講座やアンケート調査などを通じて、町民参加の機会を積極的に設けるとともに、そうした機会を通じて得られた意見を踏まえ、今後の施策を検討する。

(4) 北海道ニセコ高等学校との連携・協働

地域の人材や関係機関との協働による多様な授業や活動を行っている北海道ニセコ高等学校と連携し、学校が実施する地域づくりに関連する取組を支援するとともに、生徒の発想や行動力、将来の地域づくりの担い手としての視点などを施策に反映することのできる仕組みを構築する。

(5) 近隣自治体や関係機関との連携

北海道後志総合振興局や近隣の市町村などと課題や基本的な認識を共有して施策連携を進めるとともに、札幌市や東京都の地方自治体、民間企業、NPOなどとの連携・協働により、都市圏における事業を効果的に展開する。

2. 進行管理

(1) 数値目標及び重要業績評価指標（KPI）による進行管理

総合戦略に対応する施策の効果を客観的に把握するため、基本目標ごとに設定している数値目標と、基本的方向ごとに設定している重要業績評価指標(KPI)について、毎年度、進行管理の基礎データとして実績値を取りまとめ、評価指標として用いる。

(2) PDCAサイクルによる推進

数値目標及びKPIの実績値に加え、総合戦略に基づき実施した施策・事業の実施状況や課題などを整理し、「自治創生推進本部」及び「ニセコ町自治創生協議会」において効果を検証・評価し、その結果を踏まえ、必要な改善や見直しを実施するPDCAサイクルにより行う。